

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 14 日現在

機関番号：23102

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2011～2012

課題番号：23720368

研究課題名（和文）奴隷解放期における教育と政治の社会史—米国南部解放民学校と黒人議員の事例研究

研究課題名（英文）History of Education and Politics during the Emancipation Period in the United States: A Study of the Southern Freedmen's School and the Gullah Statesman

研究代表者

荒木 和華子（ARAKI WAKAKO）

新潟県立大学・国際地域学部・助教

研究者番号：90581778

研究成果の概要（和文）：初年度は研究目的とした元奴隷の学校であるペン解放民学校と公教育の関わりと、この学校を政治活動の母体とした黒人議員ロバート・スモールズによる教育政策の検証を行い、その成果を英語論文として『19世紀学研究』誌上において発表した。最終年度（2年目）は、研究テーマをさらに深く掘り下げて、複数の研究会で報告を行い、研究ノート『国際地域研究論集』に掲載した。ペン学校を通して、黒人（解放奴隷）教育とより広い文脈における「政治」との交錯について考察した結果、米国内部だけではなく、他国（特に南アフリカなど）における教育との接点が明らかとなり、今後の研究課題（米国の帝国主義における黒人教育の「移植」について）として取り組んでいく。

研究成果の概要（英文）：In the first year, I have examined the freedpeople's education and its role in the establishment of the modern public educational system in the U.S. South during the 19th century by looking at the case of the Penn School and Robert Smalls in Beaufort County in South Carolina. I was able to publish the monograph on the academic journal of the Institute for the Study of the 19th Century Scholarship. In the following year (last year), I further examined my research and presented at several seminars. As a result, I have published research note on the academic journal of the Association of International Studies and Regional Development. Based on last two years of research, I have realized that the study of Penn School's connection to wider community is significant because it shows the world's transition from Pax-Britannica to Pax-Americana as well as roles of education played within imperial context. The study of this school leads us not only to the enrichment of our understanding meaning of education for freed-population but also to the exploration in crossroads of education and politics in a larger sense.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
交付決定額	1,300,000	390,000	1,690,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：解放民教育、ペン学校、ロバート・スモールズ、公教育制度、アメリカ南部史、奴隷解放、再建期、サウスカロライナ州ビューフォート郡

1. 研究開始当初の背景

これまで私は、特別研究員（DC2）奨励費採択課題「奴隷解放期における人種とジェンダーの政治—米国南部ペン学校の実験教育

の背景と思想」、また同（PD）課題「南北戦争下における解放民教育と人種・ジェンダー編制」において、複数の論文を発表し、次の4点を明らかにしてきた。1.解放民教育の実

験の特徴(自由労働者育成、学習意欲の証明、文明/市民化)、2.解放民のアメリカ化教育におけるジェンダー規範の役割、3.白人女性教師による人種的他者を教育する行為とフェミニズム(女性参政権獲得運動)との接点、4.白人性の意義と北部出身黒人女性教師のアイデンティティ形成である。

これらの人種やジェンダー視角からの研究成果を踏まえ、奴隷解放が具体化されるプロセスにおいて、解放民教育参画者(解放民、コミュニティ、教師、政府解放民局)がどのように教育を実践し、政治との接合領域を拡張していったのかを考察する必要が生じた。

またペン学校やスモールズ議員が南部における公教育制度に大きな役割を担ったことを踏まえ、解放民教育活動を広く米国における公教育制度の確立のプロセスのなかに位置づける必要性が研究開始当初に認識された。

2. 研究の目的

本研究は、次のような目的のもとに行われた。19世紀半ばのアメリカ合衆国(米国)における「奴隷解放」という事象を、教育と政治の現場から明らかにする。まず、①奴隷解放をめぐるこれまでの論争を整理し、②奴隷解放を具体化した教育活動、特に最初期の元奴隷の学校であるペン解放民学校の展開を実証的に明らかにする。その上で、③ペン学校のコミュニティを政治活動の母体とした黒人下院議員ロバート・スモールズによる教育政策を検証する。ペン学校とスモールズの事例は、19世紀南部黒人社会と米国の公教育の歴史を理解するにあたって従来見落とされがちであった道筋を提示するのみならず、奴隷解放後の新南部の社会「再建」における教育と政治の密接な関係性を示すことができるためである。

3. 研究の方法

研究目的の遂行のために、最も有効なアプローチは社会史研究であると考えた。奴隷解放という一大事件に人々がどのように向き合い、それにより当時の人々の心象/心性がいかに形成され、集団間の権力関係をどのように理解し、それらの再編をせまったのか、またその過程における解放民教育の意義と、政治との関連はいかようであり、広義の学校教育活動が人々による人権保障、権利獲得のための運動と結びついていったのか。これらの問いに答えるためには、隣接する多様な分野の成果を柔軟にとり入れ、多角的に資料を検討する社会史の方法論に、検証のための具体的な事例に関する精緻な実証研究がともなわなければならないと考えた。

4. 研究成果

初年度は研究目的とした元奴隷の学校であるペン解放民学校と公教育の関わりと、この学校を政治活動の母体とした黒人議員ロバート・スモールズによる教育政策の検証を行い、その成果を英語論文として『19世紀学研究』誌上において発表した。最終年度(2年目)は、研究テーマをさらに深く掘り下げて、複数の研究会で報告(「トニ・モリスンによるピラヴドにおける奴隷制の『真実』と奴隷の『亡霊』」、「南アフリカ共和国における米国南部黒人学校の移植をめぐるポストコロニアル研究」、「20世紀初頭の米国南部ペン学校の南アフリカにおける受容:農村地域のモデル学校として」など)を行い、研究ノートを『国際地域研究論集』に掲載した。ペン学校を通して、黒人(解放奴隷)教育とより広い文脈における「政治」との交錯について考察した結果、米国内部だけではなく、他国(特に南アフリカなど)における教育との接点が明らかとなったので、今後の研究課題(米国の帝国主義における黒人教育の「移植」について)として取り組んでいく。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

1. 荒木和華子、「南アフリカ共和国における米国南部黒人学校の移植をめぐるポストコロニアル研究のためのノート:「ソフトな帝国主義」の背景」、『国際地域研究論集』4、(査読無し)、2013年、pp.129-137.

2. Wakako Araki, “Freedpeople’s Education and its Role in the Establishment of the Modern Public Educational System in the U.S. South during the Nineteenth Century: The Case of the Penn School and Robert Smalls in Beaufort County, South Carolina,” 『19世紀学研究』6、(査読あり)、2012年、pp.119-145.

<http://nirr.lib.niigata-u.ac.jp/handle/10623/36781>

[その他]

ホームページ等

<http://www.unii.ac.jp/researcher/detail/146.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

荒木 和華子 (ARAKI WAKAKO)

新潟県立大学・国際地域学部・助教

研究者番号：90581778